平成 29 年度　全国学力・学習状況調査結果から見た
扶桑町の児童生徒の状況

学校教育課　内線 341

今年 4 月 18 日に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。対象学年は、小学 6 年生と中学 3 年生で行われました。個人の状況は、既に該当学年の保護者の皆様にお知らせしました。ここでは、扶桑町全体の傾向について報告をします。

なお、記述にあたりまして［序列化や過度な競争をまねく数値の公表はしない］という方針をとっています。また、児童生徒には、個人差があります。以下に掲載させていただきました内容が誰にもあてはまるわけではありませんので、ご理解いただきますようお願いします。

1. 学力に関して（A：主として知識、B：主として活用）

◎平均正答率について　◇定着している内容　◆課題である内容

町内小学校 6 年生の平均正答率より	町内中学校 3 年生の平均正答率より
◎［国語 A ］全国レベルと同程度である。 ◇ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。 ◆漢字を正しく読む、書く。 ◎［国語 B ］全国レベルをやや下回っている。 ◆目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。 ◆物語を読み、理由を明確にして、自分の考えをまとめる。	◎［国語 A ］全国レベルと同程度である。 ◇文脈に即して漢字を正しく読む。 ◆場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。 ◎［国語 B ］全国レベルを上回っている。 ◇集めた材料を整理して文章を構成する。 ◇目的に応じて必要な情報を読み取る。
◎［算数 A ］全国レベルと同程度である。 ◇少数の乗法計算を身に付けている。 ◆加法と乗法の混合した計算について理解する。 ◎［算数 B ］全国レベルと同程度である。 ◇平均を求める式を判断することができる。 ◆割合の関係を捉え、判断の理由を記述する。	◎［数学 A ］全国レベルを上回っている。 ◇分数の乗法の計算ができる。 ◇円錐が回転体としてどのように構成されているか理解している。 ◎［数学 B ］全国レベルを上回っている。 ◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。

2. 学習状況等に関して

○小学校、中学校ともに、ほとんどの児童生徒が朝食を毎日食べていると回答しており、ご家庭の協力のもとによい生活習慣が身に付いています。

○小学校、中学校ともに、「家で学校の宿題をしていますか」の問いに、とても高い結果でした。しかし、自主的な予習、復習までにいたっておらず、計画的に家庭学習を進めることが得意でないという傾向があります。また、小学校では家庭における学習時間が 1 時間以下の児童が約半数弱という結果でした。

○小学校、中学校ともに、「学校の規則を守っていますか」の問いに高い結果が得られ、落ち着いた学校生活を送っていることを裏付けています。

○小学校では、学校図書館を利用する児童が増え、読書の習慣が身に付いてきています。

○中学校では、「友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができる」の問いにほとんどの生徒が肯定的に回答し、教科・道徳の中で主体的・対話的な学びが進んでいます。

○中学校では、携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人との約束を守れている生徒が約半数という結果でした。

○小学校、中学校ともに「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに、ほとんどの児童生徒が「いけない」という意識をもっている回答を得ました。